九州地方プリント No.5

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

名前

出席番号　　必要な人は書く

問1　鹿児島市中心部の1983年の状況と2004年の状況を比較した際、地図上の表現から読み取れる土地利用の変化として最も適切なものはどれか。

- ○ 市街地中心部に位置する城山が削られ、大規模な住宅団地として再開発された。
- ○ 美術館の南側に、開いた本の形をした地図記号で表される図書館が新たに設置された。
- ○ 沿岸部において埋め立てが進んだが、港湾施設の整備により海岸線の形状に変化は見られない。
- ○ 駅の西側に位置する高等学校の敷地が大幅に拡大され、新たな校舎が建設された。

問2　日本の諸地域の気候を統計資料から判別する場合、宮崎県（宮崎市）のデータに該当する特徴的な数値の組み合わせとして正しいものはどれですか。

- ○ 1月の平均気温が氷点下となり、年間の降水量は季節による大きな変動がなく一定である。
- ○ 1月の平均気温が約10度と高く、さらに6月と9月に降水量の大きなピークが見られる。
- ○ 8月の平均気温は約28度まで上がるが、年間の降水量は1200mm程度と非常に少ない。
- ○ 1月の平均気温が約5度であり、12月から2月にかけての降水量が1年で最も多い。

問3　大分県の自然環境と気候の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。

- ○ 中央部に険しい山脈が南北に走っているため、東部は瀬戸内海の影響を受けて年間を通じて雨が少なく、西部は夏に降水量が集中する。
- ○ 全域が典型的な日本海側気候に属しており、冬の季節風が運ぶ湿った空気によって、県内全域で平野部でも大量の積雪が見られる。
- ○ 県の中央部を東西に横断する山地の影響で、北部は一年中温暖で雨が少なく、南部は冬の季節風が山を越えて吹き下ろすため降雪量が多い。
- ○ 県の中央部に比較的なだらかな山地が東西にのびており、北部は冬の季節風の影響で降水量が多く、南部は一年を通じて温暖で降水量が少ない。

問4　沖縄県の農業経営において、菊の栽培が冬から春にかけて盛んに行われている要因と、その仕組みの組み合わせとして正しいものを選びなさい。

- ○ 温暖な気候を活かして暖房代などの生産費を削減し、消費地から遠いことによる輸送費の負担を克服している。
- ○ 菊の需要が最も高まる9月の出荷をあえて控え、競合が少ない3月の卒業・入学シーズンに絞ることで輸送費の無駄を省いている。
- ○ 労働力不足を補うために、冬場だけ働く季節労働者を全国から集め、生産費を一定に保つ工夫をしている。
- ○ 夏場の冷涼な気候を活かして他の産地の品不足を補い、高い輸送費を払っても利益が出るような高い販売価格を設定している。

問5　火山の噴火による降灰の広がり方が季節によって異なる地域において、8月には火口から北西方向の市街地側に、2月には南東方向の海側に多く灰が降る現象が見られます。この背景にある「季節風」と降灰の関係について、正しい記述を選びなさい。

- ○ 冬は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる
- ○ 冬は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる
- ○ 夏は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる
- ○ 夏は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる

問6　熊本県に位置する阿蘇山では、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して「カルデラ」と呼ばれる地形が作られました。この地形の利用や特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。

- ○ カルデラの急斜面を利用して、大規模な稲作や果樹園が展開されている。
- ○ カルデラ内には広大な草原が広がり、牛や馬の放牧が行われている。
- ○ カルデラの底部には常に水が溜まっており、巨大な湖としてのみ利用されている。
- ○ カルデラの周囲は火山灰が堆積したシラス台地となっており、サツマイモ栽培が盛んである。

問7　ある都市の気象統計において、6月や7月の梅雨の時期に降水量が多く、さらに9月に台風の影響で年間最大の降水量のピークが見られる気候的特色を持つ都市はどこですか。また、その主な要因は何ですか。

- ○ 周囲を高い山々に囲まれた盆地であり、年間を通して降水量が非常に少ない長野市
- ○ 南西諸島に位置し、年間を通して気温が高く、梅雨の時期が本土より早い那覇市
- ○ 日本海を流れる対馬海流の影響を受け、冬の降水量が夏よりも多くなる福岡市
- ○ 太平洋からの季節風が九州山地に遮られることや、台風の通り道となることが要因である宮崎市